

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 27日

職員4名 回答率100%

事業所名:子ども療育センターのびのび

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	・活動内容によって環境設定を調整、工夫している。 ・環境設定において、パーティションやマット等を使用し構造化を行っている。	・運動をする際の内容やエリア確保に工夫や改善が必要である。より良いサービス提供に向け、検討を行う。
	2	職員の配置数は適切である	4		・利用児の様子やプログラムに合わせて、柔軟にサポート対応できるよう職員全体で意識している。	・利用児状況や利用人数によっては、余裕をもった人員配置が出来るよう、人材確保に努めていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		・利用児の状況、実態に合わせ、都度、環境調整を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		・アルコールや次亜塩素酸ナトリウム液等を使用した清掃や消毒を行い、清潔な環境づくりに努めている。 ・活動中、常時空気清浄機を稼働している。また、換気にも留意している。	・換気や環境整備等、引き続き留意していく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		・毎回、活動後にフィードバックを実施している。 ・各職員からの視点を次の計画に活かすようにしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			・更に細かく職員間で話し合いを行い、業務改善につなげていくことが必要である。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・事業所内で課題を持ち寄り、意見を出し合うことでも支援のスキルアップにつながっているため、その機会も取り入れていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		・利用児それぞれの状況を踏まえ、取り入れたい活動または経験してほしい活動について案を出し合っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		・目標や課題に応じ、役割分担を行いプログラムを進めている。 ・毎回、支援経過記録も確認しながら打ち合わせをしている。	・引き続き徹底していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		・各職員の見立てや意見を共有し、次回の計画に活かしている。 ・支援経過記録の記入や確認を全体で行い、活用している。	・引き続き徹底していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4			・モニタリング後は、職員全体で内容や今後の課題等の共有を徹底していくことが必要であり、行っていく。	
関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4			・連携を強化していくことが必要だと感じている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4		・必要に応じて連携をとっていく	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		・必要に応じて連携をとっていく	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			

との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1	・責任者のみ参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・送迎時や連絡帳を活用し、共通理解に努めている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1	・連絡帳を活用 ・必要に応じて関わり方や支援の案を提示している	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		・現在は主に責任者が行っている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		・いつでも相談に対応できるよう、相談スペースを増設した。 ・相談受付窓口について、玄関入り口にポスターで掲示している。	・相談しやすいよう、日頃からの信頼関係構築に努め、相談があった際には保護者のお声かけに対して真摯に対応していきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2		・親子のつどいを例年夏に実施していたが、コロナ禍で一端開催を控えたため、今後はまた時期や規模など検討しながら実施していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		・全職員で共通理解の下、取り組んでいる	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		・現在、事業所の会報の発行が不定期になっているため、定期的な発行ができるように努める。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		・連絡帳や電話、LINE等を活用して対応している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1		・近隣への散歩や散歩等で、近隣住民と挨拶や会話を交わす機会もある。 ・機会があれば、活動の様子をパンフレットや会報で啓発を行う。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			・保護者への周知方法を検討し、お知らせしていく。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		・月に1回、実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		・保護者より報告があった分は情報共有、状況把握を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・研修計画を立て、定期的の実施を行っていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			・大きな怪我等、危険が予測される場合なども想定し、必要に応じて支援計画への記載も行っていく。